

系 統	低収縮型不飽和ポリエステル樹脂系コンクリート用結合材																							
特 長	1) 硬化性、強度発現性に優れる。 2) 機械的強度に優れる。 3) 硬化収縮がほとんどない。 4) 注入充てん作業性に優れる。 5) 耐水、耐薬品性に優れる。																							
用 途	1) SBプレパックドコンクリート用結合材 2) 沓座桁座コンクリート部の補修に使用																							
配 合 比	主 剤：硬化剤：充填材：促進剤 = 8.9 : 0.2 : 0.9 : 0.05~0.15 (重量比)																							
荷 姿	10kgセット (主剤/8.90kg、硬化剤/0.20kg、充てん材/0.90kg、促進剤/0.05kg×3本)																							
外 観 性 状	主 剤…灰色液状 硬 化 剤…白色粉体 充てん材…白色粉体 促 進 剤…淡黄色透明液状 混 合 物…灰色液状																							
可 使 時 間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タ イ プ</th> <th colspan="4">通 年 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温 度 [°C]</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>促 進 剤 [本]</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>可 使 時 間 [分]</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>				タ イ プ	通 年 用				温 度 [°C]	5	10	20	30	促 進 剤 [本]	3	2	1	1	可 使 時 間 [分]	25	30	20	8
タ イ プ	通 年 用																							
温 度 [°C]	5	10	20	30																				
促 進 剤 [本]	3	2	1	1																				
可 使 時 間 [分]	25	30	20	8																				
比 重	1.20±0.05 (硬化物)																							
貯蔵保証期間	9か月 (未使用、冷暗所保存)																							
消防法による危険物区分	主 剤 第4類 第2石油類 硬化剤 第5類 第2種自己反応性物質																							
使用 方 法	1) 攪拌容器 (ペール缶など) に主剤、硬化剤を入れ、電動攪拌機を用いて均一になるまで十分に混合攪拌する。 2) 攪拌しながら充てん材を徐々に加え、均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) 施工温度により、規定量の促進剤を添加し、十分に混合攪拌する。 4) 骨材充てんされた型枠内に、注入充てんする。																							
使用上の注意	1) 促進剤を添加しないと硬化しない。促進剤を必ず添加すること。 2) 促進剤は、施工温度における強度発現性と可使時間を考慮し決定する。 3) 充てん材を添加しないと付着性、低収縮性が低下するので、必ず添加すること。 4) 主剤は使用前2層に分離しているので、十分攪拌してから使用すること。 5) 硬化が速いので、可使時間に十分注意する。 6) 硬化剤と促進剤を直接混合すると、急激に反応して発煙・発火の危険があるので、上記使用方法の手順を厳守すること。																							

⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。